

“神農さん”でおなじみの少彦名神社と神農生活が初のコラボレーション 健康をテーマに合同で「神農祭」を開催します

近鉄百貨店と少彦名神社は、近鉄百貨店がフランチャイズ形態で運営する台湾発のライフスタイルショップ「神農生活」と、“神農さん”の愛称で親しまれる「少彦名神社」が同じ“神農”をキーワードに掲げていることから、初めてコラボレーションし、このたび**健康をテーマに合同で「神農祭」を開催します。**

今回開催される合同の「神農祭」では、少彦名神社所蔵の神農像を神農生活の売場内に設置し、少彦名神社や神農祭の由来を紹介します。また、健康に関するワークショップの実施や、健康をテーマに神農生活の商品を提案します。少彦名神社では、五葉笹に張り子の虎と御札をつけた「神虎笹」を、「健康むすめ」巫女や北新地芸妓がご参拝の方に授与します。

＜神農生活と少彦名神社と神農＞

古代中国における三皇五帝の一人ともいわれる“神農”は医薬と農業をつかさどる神とされています。

「神農生活」では多くの薬草・毒草を自らが服用しその効用を検証した神農の精神を受け継ぎ、バイヤー自らが多くの商品を試し良いものだけをセレクトしています。

少彦名神社では、周辺に薬種商が多かったことから薬祖神「神農」のご加護があるようお祀りされています。

神農



＜神農祭の由来＞

1822年に大阪でコレラが流行した際、丸薬を作り、「神虎」と呼ばれる張り子虎のお守りと一緒に祈願して配ったところコレラが収束したことから、毎年神農祭を実施するようになったといわれています。神農祭は大阪市無形文化財(民俗行事)に指定されており、毎年多くの参拝客でにぎわいます。

張り子の「神虎」



＜開催概要＞

【開催期間】 神農生活 11月17日(水)～23日(火・祝)

少彦名神社 11月22日(月)・23日(火・祝)

【開催場所】 あべのハルカス近鉄本店タワー館10階「神農生活」「食習」「Oolong Market 茶市場」
少彦名神社(大阪市中央区道修町2丁目1)

【主なイベントについて】

合同の「神農祭」によるイベント・取り組み

○神農像の展示

少彦名神社所蔵の神農像を神農生活に展示します。

【実施場所】神農生活 売場内

○少彦名神社や「神農祭」の紹介

1822年から続く少彦名神社の「神農祭」を写真やパネルを使って展示・紹介します。

【実施場所】神農生活 売場内

○ご祈祷マスクのプレゼント

少彦名神社でご祈祷されたマスクをプレゼントします。

【対象者】11月22日・23日に2,000円以上お買い上げの先着200名

【お渡し場所】神農生活 売場内

○神虎笹持参のお客様へのご優待

少彦名神社に参拝し、神虎笹を持参されたお客様は、「Oolong Market 茶市場」のティーサロンで10%のご優待を実施します。

【実施場所】「Oolong Market 茶市場」内ティーサロン



新農像



ご祈祷マスク(イメージ)

神農生活でのイベント・取り組み

○健康をテーマにワークショップを開催します

- 健康に役立つ、自然生活セミナー ※要予約

「医食同源」「秋冬の食」など健康をテーマに台湾人講師が心身に役立つ方法を解説します。

【開催日時】11月17日(水)13:00~14:30

【開催場所】Oolong Market 茶市場

【定員】8名 【参加費】3,000円

- 食べる健康茶 客家擂茶(はっかれいちゃ)ワークショップ ※要予約

客家民族が古くから飲んでいる穀物茶「擂茶」を、自身で穀物をすりつぶすところから体験できます。

【開催日時】11月18日(木)~20日(土) 11:00~12:00、15:00~16:00

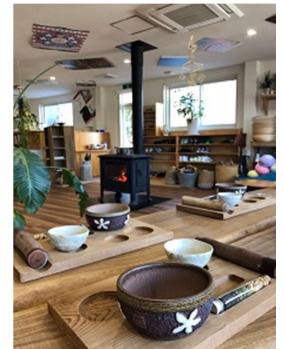
【開催場所】Oolong Market 茶市場

【定員】各回5名 【参加費】2,500円

○神農生活で扱う食品のなかから、「健康」をテーマにした食品を提案します

例:生姜やニンニクを使った体を温める食品の集積

レストラン「食習」の多くの野菜をとれるスープの紹介



客家擂茶ワークショップ
(イメージ)

少彦名神社でのイベント

○「神農祭」11月22日(月)・23日(火・祝)

神農祭は「薬祖講」の行事として大阪市無形文化財(民俗行事)に指定されており、

「大阪の祭りはえべっさんに始まり神農さんで終わる」と言われるように「とめの祭」とも呼ばれています。

神農祭は文政5年(1822年)に大阪でコレラが流行した際に、薬種仲間が病除けの薬として、

「虎頭殺鬼雄黄圓」(こうさっきうおうえん)という丸薬を作り、「神虎」(張り子の虎)のお守りを一緒に

神前祈願の後、施与したことに由来するといわれています。

現在では、五葉笹に張り子の虎と少彦名神社の御札をつけた張り子の虎を家内安全無病息災の御守として授与しています。

- 「健康むすめ」巫女による神虎笹の授与

【開催日時】11月22日(月)・23日(火・祝) 10:00~18:00

- 北新地芸妓「小琳・清一」による神虎笹の授与

【実施日時】11月22日(月) 13:00~16:00

<神農生活について>

台湾発のライフスタイルショップ。近鉄百貨店がフランチャイズ形態として、2021年4月9日に日本一号店をあべのハルカス近鉄本店タワー館10階にオープンした。台湾の家庭料理が味わえる「食習」、日本最大級の品数を取り揃えた台湾茶のセレクトショップ「Oolong Market 茶市場」も同時オープンし、海外旅行に気軽に行けない今、台湾の食や雑貨などのライフスタイルに触れることができると、多くのお客様にご来店いただいています。

<少彦名神社について>

日本医薬の祖神「少彦名命」、中国医薬の祖神「神農炎帝」の二柱をお祀りしており、通称「神農さん」として親しまれています。鎮座する道修町は、豊臣秀吉の商業政策により薬種商が集められた薬問屋の町でした。1822年、疫病コレラの流行の際に虎の頭骨などを配合して作ったのが「虎頭殺鬼雄黄圓」です。「張り子の虎」を御守として薬とともに人々に配ったことから、今でも「張り子の虎」が家内安全無病息災の象徴として授与されています。